

◆栗東市公立園の再編（認定こども園化）について

タイプ別に認定こども園化を実施し、検証と評価を行いながら、次選定園へ、成果・課題・ノウハウを反映し、段階的に全市的な普及を進めます。

■モデル園の選定

区分(タイプ)	モデル園	主な理由
幼保連携型	金勝第1 幼児園 (金勝幼稚園) (金勝第1 保育園)	<ul style="list-style-type: none"> 既に一体型の施設であり、また公立施設の中でも比較的新しく、年次的な改修を行いながら保全の実施を行うことで、継続的な使用が可能な施設で、施設面における支障は少ない施設。 保育面においても、幼児園として混合保育（4・5歳児クラス）等を実施している施設。 対象年齢人口の減少は特に著しく、幼稚園の利用者は大幅に減少し、保育園の利用者は他学区からの受け入れにより、横ばいから微増傾向で推進している施設で、幼稚園と保育園の在籍状況のアンバランスも大きい施設。 定員見直し等により認定こども園化の実施が可能な施設。
幼稚園型	大宝幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 旧保育園舎と幼稚園舎を渡り廊下で繋ぎ、一体的に利用している施設で、空きスペースも多く、施設の空きスペースの活用が可能な施設。 他小学校区と異なり、2小学校区に1園の幼稚園となる施設（大宝幼稚園分園閉園（令和5年3月末）、大宝幼稚園で受入）。 大宝小学校区に居住する児童の50%は大宝小学校区内の保育園へ登園しているが、残りの児童は他小学校区の保育園に登園し、特に大宝東・治田西・大宝西への登園が多い状況。 栗東西中学校区内の就学前教育・保育施設や子育て支援施設の状況等からも、栗東西中学校区を中心とする施設。
幼保連携型 (民設民営化)	治田保育園	<ul style="list-style-type: none"> 治田保育園舎は、築48年が経過し、建替えを含む大規模な改修が早期に必要な施設。 同小学校区内の公立幼稚園と保育園が別々の場所にある施設。 対象年齢人口が市内でも最も増加傾向にある地域。 小学校区ごとの施設定員数と事業量推計のギャップ指数が大きい地域。

■幼保一体（認定こども園）化実施スケジュール

現園名	区分(タイプ)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
金勝第1 幼児園 (金勝幼稚園) (金勝第1 保育園)	幼保連携型	開園準備等		開園		
大宝幼稚園	幼稚園型	開園準備等		開園		
治田東幼児園 (治田東幼稚園) (治田東保育園)	幼保連携型		開園準備等	開園		
葉山幼児園 (葉山幼稚園) (葉山保育園)	幼保連携型			開園準備等	開園	
葉山東幼児園 (葉山東幼稚園) (葉山東保育園)	幼保連携型			開園準備等	開園	
治田保育園	幼保連携型 (民設民営化)	民設民営化方策の検討		開園準備等		開園

※関連計画等の取り組みによって、実施スケジュールに変更が生じる場合があります。